

令和5年度青森県の新規就農状況調査結果について

県では、「青森新時代『農林水産力』強化パッケージ」の柱の一つに「人財育成」を掲げ、新規就農者の確保・育成に取り組んでいます。

この度、令和5年度における県内の新規就農状況を取りまとめたので、お知らせします。

1 調査対象期間

令和5年4月～令和6年3月

2 調査方法

県内各市町村及び農業委員会、青森県農業協同組合中央会、農業協同組合、農業法人、集落営農組織、(一社)青森県農業会議、(公財)青森県りんご協会、県教育委員会が把握しているデータを県が取りまとめ集計

3 調査結果

(1) 概要

ア 令和5年度の新規就農者数は、前年度より29人増加の286人となった。その内訳として、新規学卒者は前年度より9人減少の60人となった。また、他産業等からの就農者は同じく38人増加の226人で、そのうち農家出身者が5人増加の84人、非農家出身者が33人増加の142人となった。

イ 就農形態別では、独立自営就農者が前年度より18人増加の118人、法人就職者(雇用就農)が前年度より20人増加の129人となった。

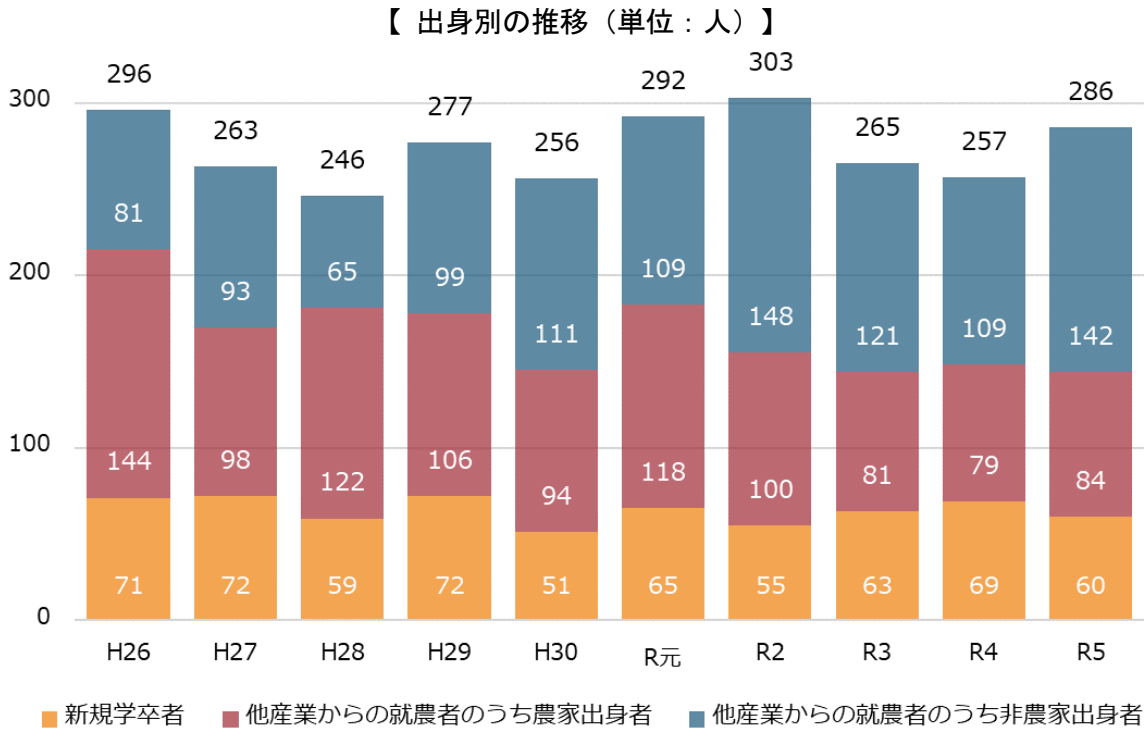
ウ 営農類型別では、果樹主体の新規就農者数が前年度より44人増加の103人となっており、地域別では、中南地域が最も多く、前年度から43人増加の110人となった。

【青森県の年度別新規就農者数(単位:人)】

出身別	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	対前年度比 (R5/R4)	H30~R4の 5年平均(A)	過去5年対比 (R5/A)
総計	296	263	246	277	256	292	303	265	257	286	111%	275	104%
新規学卒者	71	72	59	72	51	65	55	63	69	60	87%	61	99%
他産業等からの就農者	225	191	187	205	205	227	248	202	188	226	120%	214	106%
農家出身者	144	98	122	106	94	118	100	81	79	84	106%	94	89%
非農家出身者	81	93	65	99	111	109	148	121	109	142	130%	120	119%

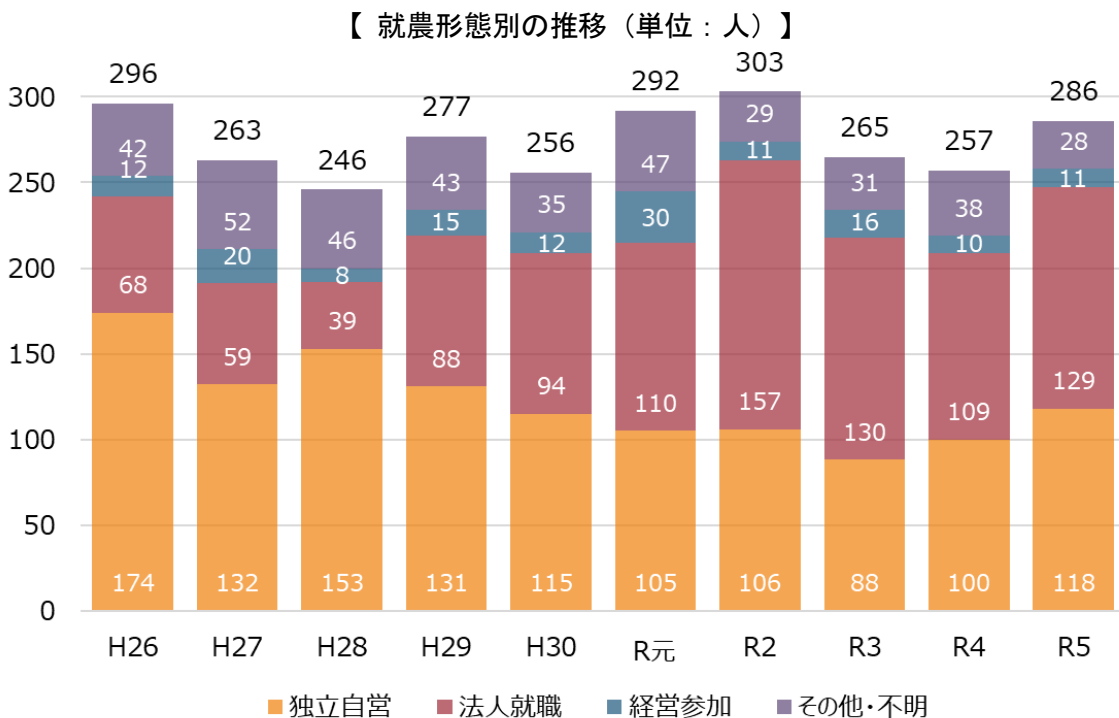
(2) 出身別による新規就農者数

- ・新規学卒者が60人、他産業等からの就農者のうち、農家出身者が84人、非農家出身者が142人であった。
- ・近年、農家出身者の割合が減少し、非農家出身者の割合が増加している。



(3) 就農形態別による新規就農者数

- ・独立自営就農者が118人、法人就職者が129人、経営参加が11人であった。

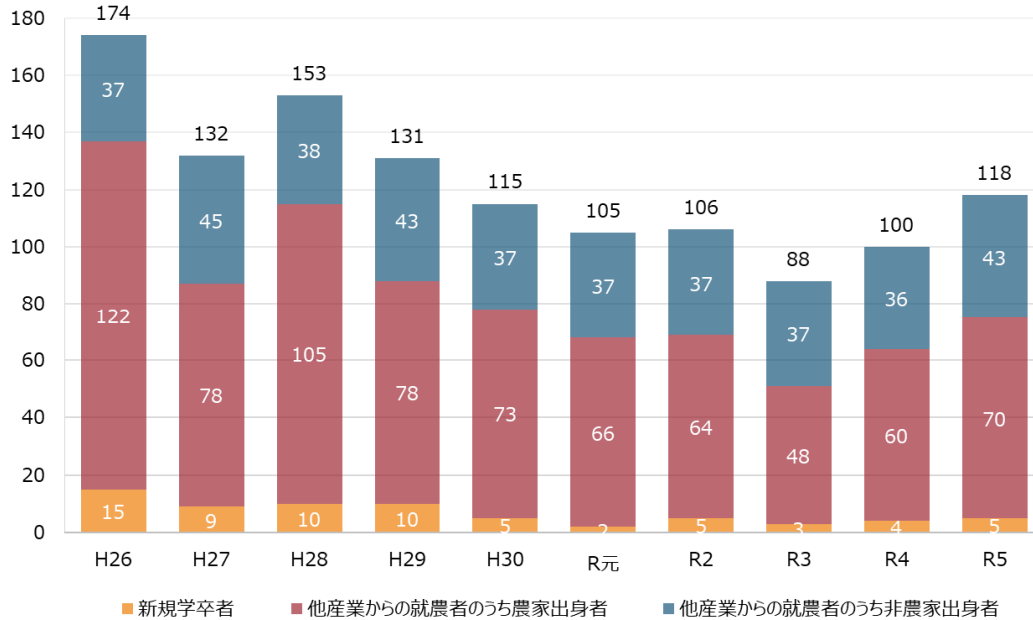


※中高の新規学卒者の一部は、就農形態が不明のため分類しない

①独立自営就農者数

- ・独立自営就農者数は、前年度より18人増加の118人であった。
- ・近年、独立自営就農者数は減少傾向にあったが、2年続けての増加となった。

【独立自営就農者の推移（単位：人）】

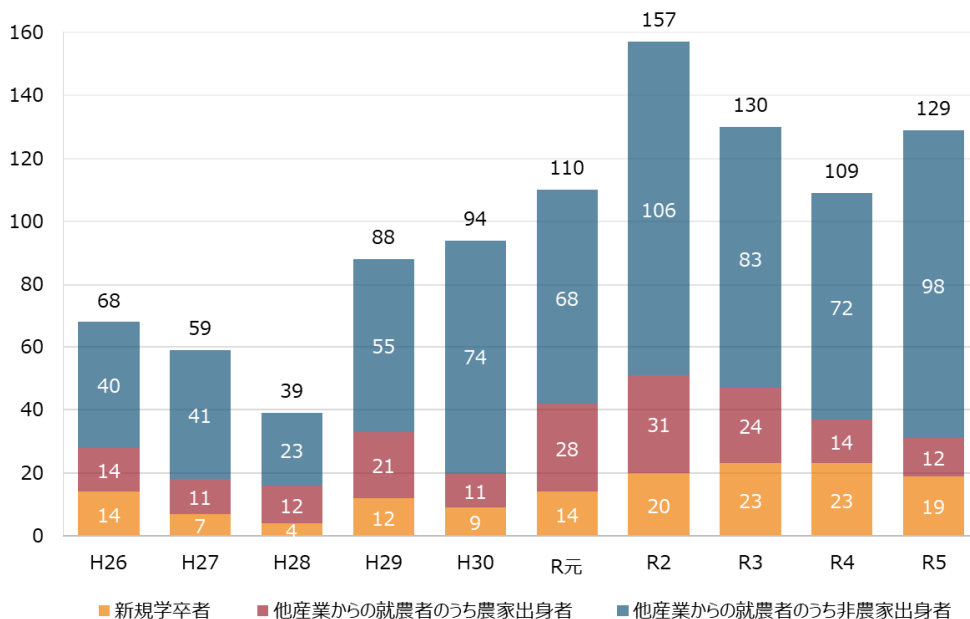


※中高の新規学卒者の一部は、就農形態が不明のため分類しない

②農業法人就職者数

- ・法人への就職者は、前年度より20人増加の129人であり、うち非農家出身者は前年より26人増加の98人であった。

【農業法人就職者の推移（単位：人）】

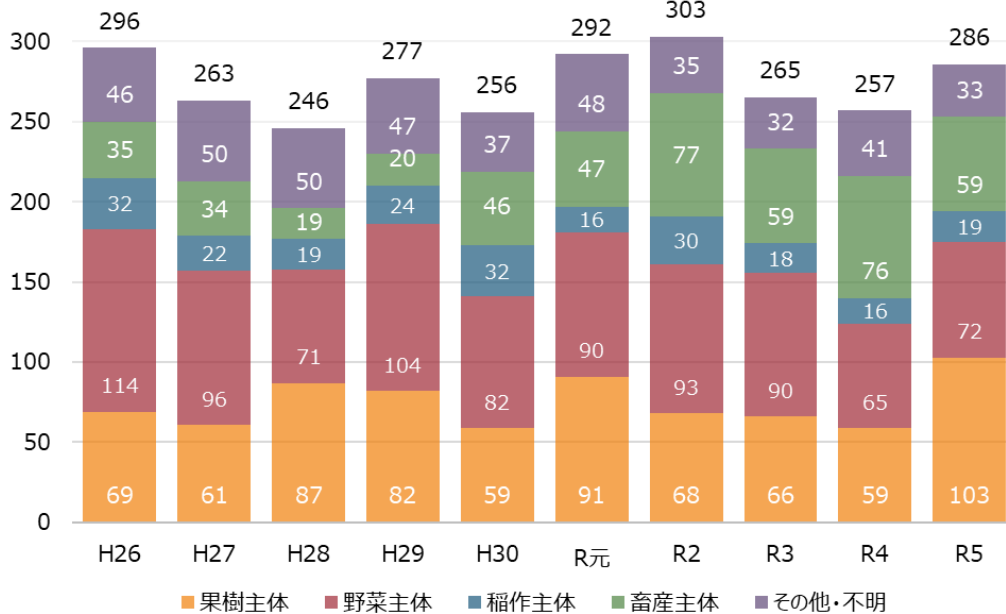


※中高の新規学卒者の一部は、就農形態が不明のため分類しない

(4) 営農類型別による新規就農者数

- ・果樹主体が103人、野菜主体72人、畜産主体59人であった。
- ・特に、果樹主体が前年度より44人増加、畜産主体が前年度より17人減少であった。

【 営農類型別の推移（単位：人） 】

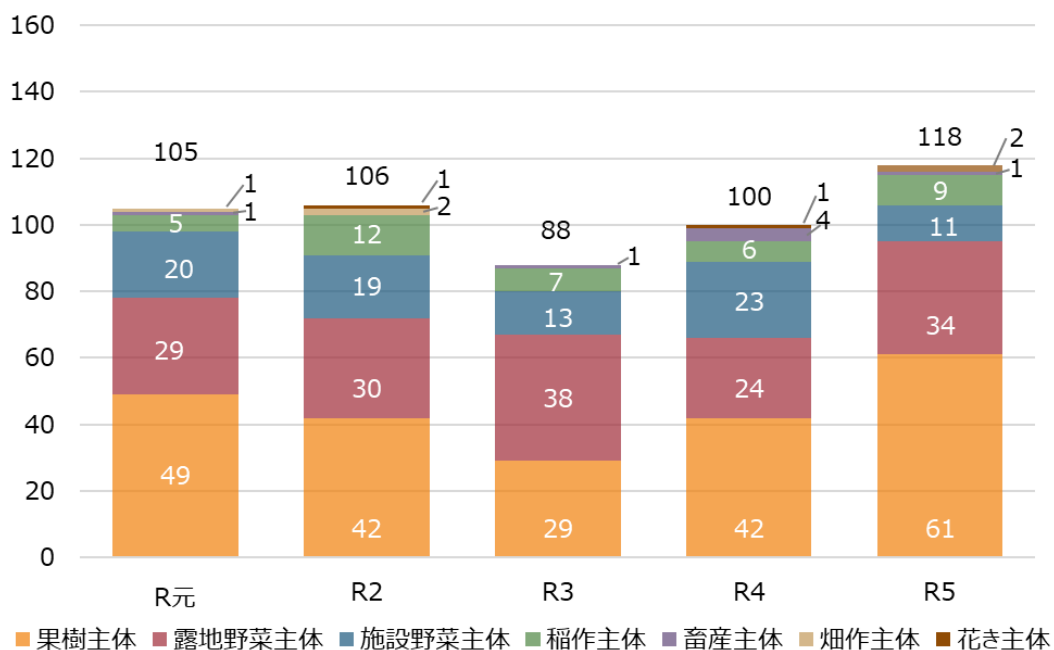


※中高の新規学卒者の一部は、営農類型が不明のため分類しない

①独立自営就農者数

- ・営農類型別では、前年度と比較して、果樹主体は19人増加の61人、露地野菜主体は10人増加の34人、施設野菜主体は12人減少の11人であった。

【 営農類型別の推移（単位：人） 】

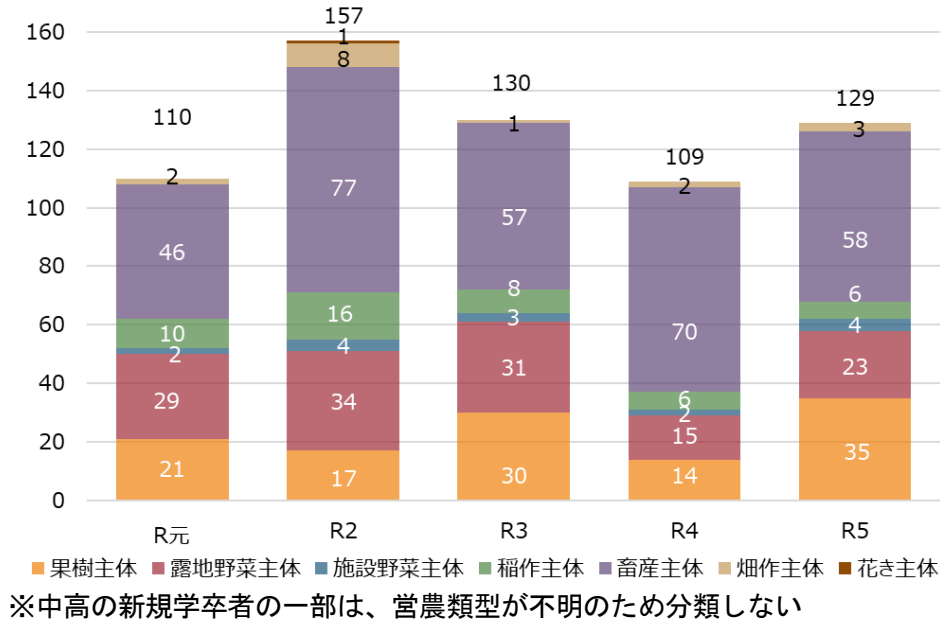


※中高の新規学卒者の一部は、営農類型が不明のため分類しない

②農業法人就職者数

- ・営農類型別では、前年度と比較して、果樹主体は21人増加の35人、露地野菜主体は8人増加の23人、畜産主体は12人減少の58人であった。

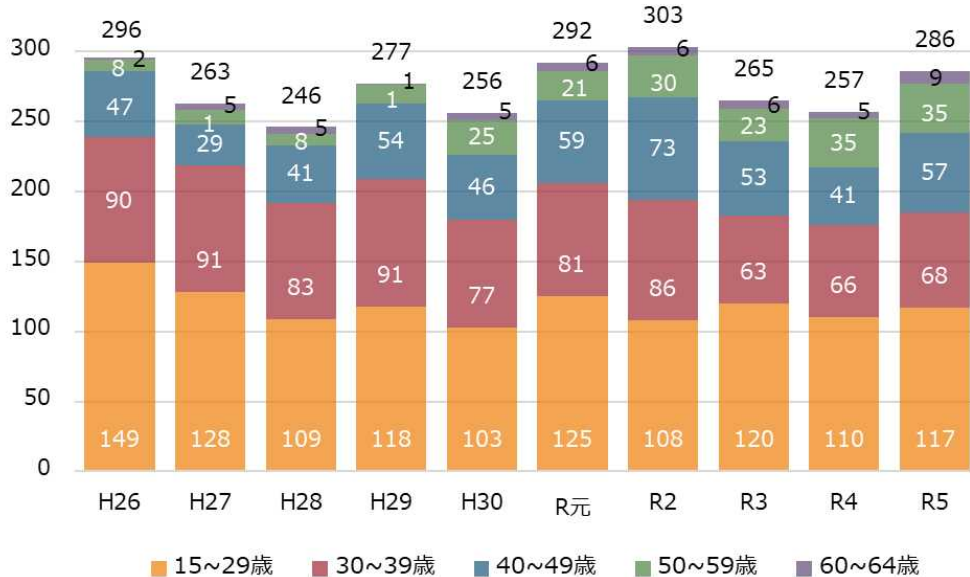
【 営農類型別の推移（単位：人） 】



(5) 年代別による新規就農者数

- 15～29歳が117人、30～39歳が68人、40～49歳が57人、50～59歳が35人、60～64歳が9人であった。

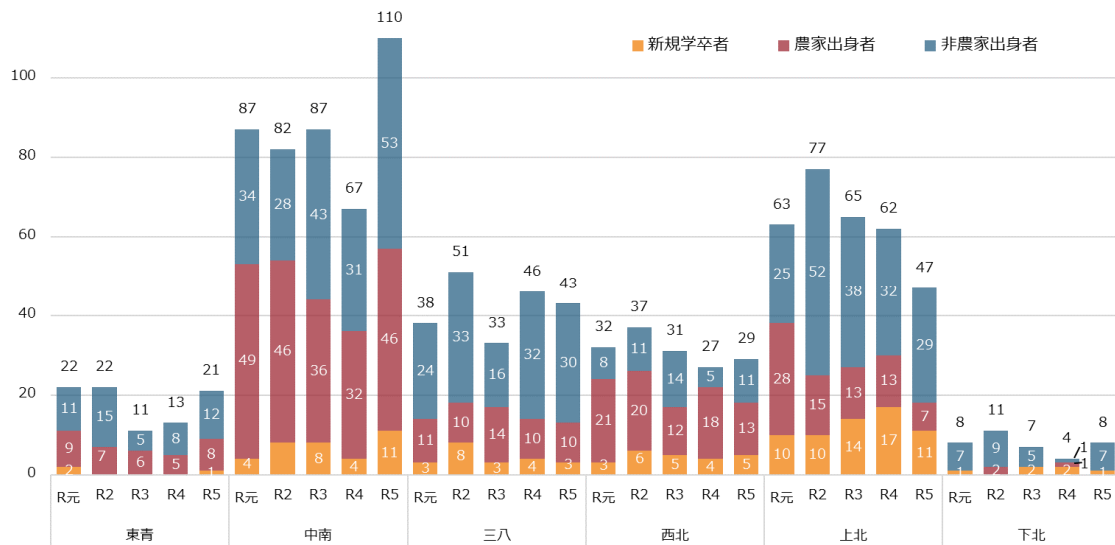
【 年代別の推移（単位：人） 】



(6) 各地域における出身別の新規就農者数

- ・中南が110人と最も多く、次いで上北が47人、三八が43人であった。
- ・前年度と比較すると、東青・中南・西北・下北は増加し、三八・上北は減少した。

【 地域別・出身別の推移（単位：人） 】



4 今後の取組

引き続き、市町村や関係機関・団体と連携して、就農啓発・相談から就農準備期、就農初期、就農定着期までの各段階に応じた切れ目のない支援に取り組む。

(1) 就農啓発・相談～就農準備期

- ・青森県農業・就農情報サイト「農なび青森」を活用した農業の魅力や就農支援制度等の情報発信、高校生を対象とした農業法人による出前授業の実施
- ・農業就業体験ツアー等による人材確保の取組を実施
- ・「青森県農業経営・就農サポートセンター」等による就農相談対応
- ・営農大学の「あおもり農力向上シャトル研修」や新規就農者育成総合対策事業を活用した座学研修などによる就農前の技術習得の促進

(2) 就農初期

- ・経営・技術、営農資金、農地などに関する相談活動や現地指導の実施
- ・経営確立に向けた新規就農者育成総合対策事業の活用促進
- ・「青森県農業経営・就農サポートセンター」による専門家派遣や関係機関の伴走型支援、青森県新規就農メンター（非農家出身の先輩農業者）による助言・指導

(3) 就農定着期

- ・栽培技術や経営管理能力の向上を図るための集合研修や発展段階に応じた個別指導等の実施
- ・地域農業者との交流会等の開催
- ・経営課題に対応した各種補助事業等による支援